



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン

Conservation Alliance Japan 2019 Annual Report

表紙: 19年度後期助成先「日本フリークライミング協会」による小川山でのリボルト活動

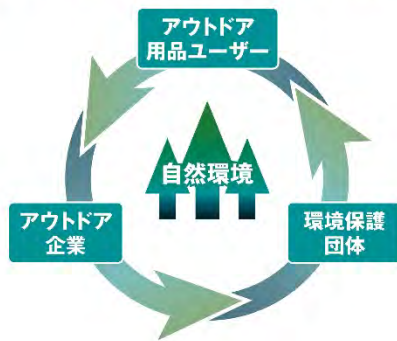
わたしたちは、 アウトドアビジネスで得た利益の一部を 自然保護のために還元します

コンサベーション・アライアンス・ジャパン（CAJ）は、
自然保護のために活動している日本の環境団体に、活動資金の援助を行なうことを目的に、
アウトドア関連企業が集まって2000年7月に設立した基金団体です。

各社の売上規模によって決定した年会費を基金（アウトドア自然保護基金）として集め、
アウトドアフィールド中心とした自然環境保護活動に対し、資金提供をしています。

コンサベーション・アライアンス・ジャパンの参加企業は、すべてアウトドア関連企業です。
私たちがアウトドアビジネスで得た利益の一部を、自然環境保護のための活動資金として助成、支援することは、
間接的にユーザーが自然保護のために資金提供することにつながります。

自然環境保全のポジティブ・スパイラル



MISSION

ミッション（使命）

CAJは日本の価値あるアウトドア・フィールドの保全を目的とする、
緊急的かつ有効な保全活動を行なっている
環境保全グループを支援します。

多くの人がアウトドアレクリエーションを楽しみ、固有の野生動物を育んできた多様性に満ちた日本の豊かな山や森、
川や海を次世代へと継承するために、草の根的に活動する団体を支援していくことは、
アウトドア企業としての責務だと認識しています。

VALUE

バリュー（存在価値）

Catalyst（触媒として）

アウトドア産業のベースとなる自然環境の保護や保全に取り組む非営利団体とアウトドアビジネスを結び付け、
ブランド、サプライヤー、リテーラー、キャンプ場、メディアを問わず、
アウトドア産業界全体で協働する機運を高め、積極的な関与を促します。

Collective Impact（集合的な影響力）

CAJの強みは、切磋琢磨している競合ビジネス同志が、健全な自然環境を持続させるという共通目標のもと、
メンバーが一丸となって団結協働することで、社会的にも大きな影響力を及ぼすことができます。

Give Back（還元）

CAJのメンバー企業は、ユーザーが次世代にもわたってアウトドアを楽しめるように、
ユーザーから得た売上の一部をフィールドの保護や保全活動に取り組む非営利団体に還元します。

Field Work（現場活動主義）

CAJの支援は、特定の土地や水域など、実際のフィールドに即した直接的な活動をしている
非営利の自然保護プロジェクトにフォーカスしています。

What's CAJ

■設立経緯

1989年、アメリカにおいて、アウトドア業界の各社が、ビジネスで得た利益の一部を自然環境保護のために還元する目的で、The Conservation Allianceという団体を設立しました。現在、アメリカの参加メンバーは230社を超え、自然保護のために大きな成果を上げています。それをきっかけに日本でも有志が集まり、2年半の準備期間を経て2000年7月、任意団体としてコンサベーション・アライアンス・ジャパンが設立されました。約20年の活動を積み重ね、今後更にインパクトある環境貢献の創出為に、2019年6月に一般社団法人化したしました。

■2025年ビジョン

<Catalyst>

アウトドア業界のサステナビリティに関するハブになっている

<Collective Impact>

主要アウトドア関連企業の過半を含む100社が加盟するCAJは、日本のアウトドア・フィールドの持続的な保全と利用に取り組む団体にとって重要かつ安定的な資金源となるとともに、ユーザーもCAJ加盟企業の製品・サービスを優先的に選択するようになっている

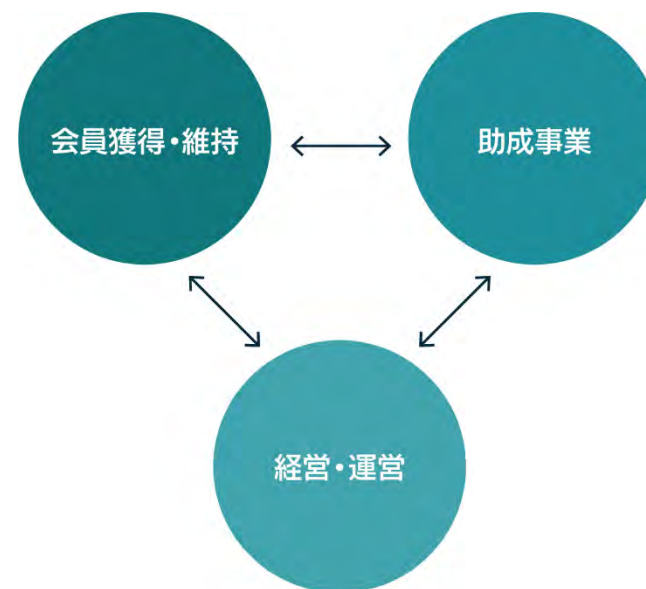
<Give Back>

アウトドア業界全体に自然保護に対する倫理観が確立され、年間2500万円規模の助成が行われている

<Field Work>

効果的なプロジェクトの支援を通じて複数のアウトドア・フィールドの保護・修復が実現している

■運営方針：3領域のポジティブ・スパイラル



<会員獲得・維持>

助成成果の創出と広報を通じてCAJの認知を高めることに加え、各種勉強会、会員企業社員参加型のイベント等の開催を通じて、会員が継続するベネフィットを創出する

<助成事業>

会員増加により拡大する基金を価値ある自然環境の保全に取り組む、実現可能性のあるプロジェクトを中心に助成することで成果を創出する

<経営・運営>

一般社団法人化と共に運営・事務局体制を強化し、透明性のある事業運営を維持しつつ、成果を出すための柔軟な業務執行を行う

Activity

一般社団法人化 HP・ロゴリニューアル



これまでの任意団体から組織の更なるガバナンス強化、活動の拡大化を目指し、2019年6月19日に一般社団法人として登記・設立された。それに伴いロゴとWEBサイトも刷新した。新メンバーも増え新たな一歩を踏み出した。

助成審査会（前期・後期）



年2回の助成申請について明確な審査基準を設計し、運用を開始した。審査会への参加が難しいメンバーも事前に意見を反映できるようになり、より公正な審査が行われるようになった。

分科会



その時々のテーマに対し有志で集まり、分科会という形で議論をしています。今期は翌年度が設立20周年となるため、世の中に対するキャンペーンを実施するということについて数回開かれ、活動計画のもととなっている。

グローバル気候マーチ



9/20、全国各地総勢5000人以上が参加し、世界中400万人が声をあげている「グローバル気候マーチ」に有志メンバーで非公式に参加した。気候対策の緊急性と若者を中心としたムーブメントを感じる機会となった。

Activity

アウトドア・イノベーション・サミット2019実行委員会



毎年国際フォーラムで行われる来場500人以上のアウトドア業界カンファレンスOutdoor Innovation Summit2019に実行委員会として参加。メンバーがモデレーターとして登壇したり、パネルボードで活動を紹介したりと、CAJの活動の広報や勧誘の機会となった。また会員非会員に関わらず業界内でのコミュニケーションの場となった。

初めての取り組みとして企画されていた、会員企業の社員や家族で実施する「バックヤード・コレクティブ」は、植樹活動予定地だった丹沢の台風被害により延期となりました。

会員向け勉強会

EOG/EOCA Mark Held氏との勉強会



CAJのように米CAを参考に設立されたEOCA(European Outdoor conservation association)兼EOG(European Outdoor Group)の事務局長であるマークヘルド氏を招聘し勉強会を行った。ヨーロッパのアウトドア市場やEOCA・EOGの仕組みなど知識を深めた。組織強化を目指しているCAJにとって組織の構築・運営方法の共有など、とても有意義な会となった。

気候危機勉強会



篠監事(パタゴニア日本支社)より、気候変動についての勉強会が行われた。気候危機の現状を学び、CAJないしアウトドア業界として何をすべきかなど、メンバーが気づきを得たり知見を深める機会となった。

Grants



【「山たの」クラブ(公社)東京都山岳連盟加盟団体】～宝沢プロジェクト～

あきる野市をスタートし、ゴールする「日本山岳耐久レース」通称ハセツネ杯が毎年開催されることから、多くのトレイルランナーが集う山域の、野生動物との接触事故を防ぐ東京郊外の山のトレイル環境整備やトレイルランナーのマナー啓発。また新たな森林活用モデルの確立を目指す。

【富士山西麓観光資源“輝き”協議会】

富士山や南アルプスの眺望を誇る本栖湖・中之倉峠を中心とした複数のトレッキングルートを持つ富士山西麓本栖湖周辺の持続可能な利用と保全のためのトレイル管理と環境整備活動を行う。

【ユウパリコザクラの会】

高山植物の盗掘など森林パトロールを行っている
当会の前線基地である夕張岳ヒュッテの整備。
排水管の整備により、不純物が混ざること防ぐことにより
沢の水を守る。



【海の森山の森事務局】～身近なマイクロプラスチック撲滅大作戦～

小中学校と協働し、大岡川、茅ヶ崎、城ヶ島でフィールドワークを行い子どもたちと海洋プラスチック問題に取り組む。

【丹沢自然保護協会】

大型野生動物が生息する豊かな丹沢の自然を守るべく、市民参加による丹沢の多様な生命を育む森の再生をめざす官民共同の植樹活動。

Grants



【南アルプスマウンテンバイク愛好会】～中尾山外一字恩賜県有財産保護財産区植樹用地巡視活動～
地域貢献と山林保護を実現しながら行う、持続可能なマウンテンバイクが走行できるトレイルづくり。

【日本フリークライミング協会】～日本フリークライミング協会小川山プロジェクト～

フリークライミングを楽しむ続けるために岩場の保全や整備、リポルト活動を行いながら、安全及び事故防止の活動を行う。

【緑のダム北相模】～相模湖・若者の森づくりプロジェクト～
地元の中高生が協働する、森を活用した教育プログラムとしての森林整備活動



【信越トレイルクラブ】～信越トレイル延伸に伴うトレイル整備事業～

古道の整備作業及び延伸ルートの道標設置行い、エリアの文化継承や魅力向上に繋がるよう安全かつ快適なロングトレイルを目指す。

【プロジェクト保津川】～保津川の清掃活動及び環境教室による「里川」の再生～

保津川下りやラフティングが行える自然豊かな保津川で、漂流ゴミなどの河川環境悪化の問題に地域を巻き込み取り組む。

【つくばトレイルガーディアンズ】～Mt.tsukuba 3S=1day challengeプロジェクト～

筑波山における3S実現のための、参加型・環境保全型トレイルサイン整備プロジェクト。

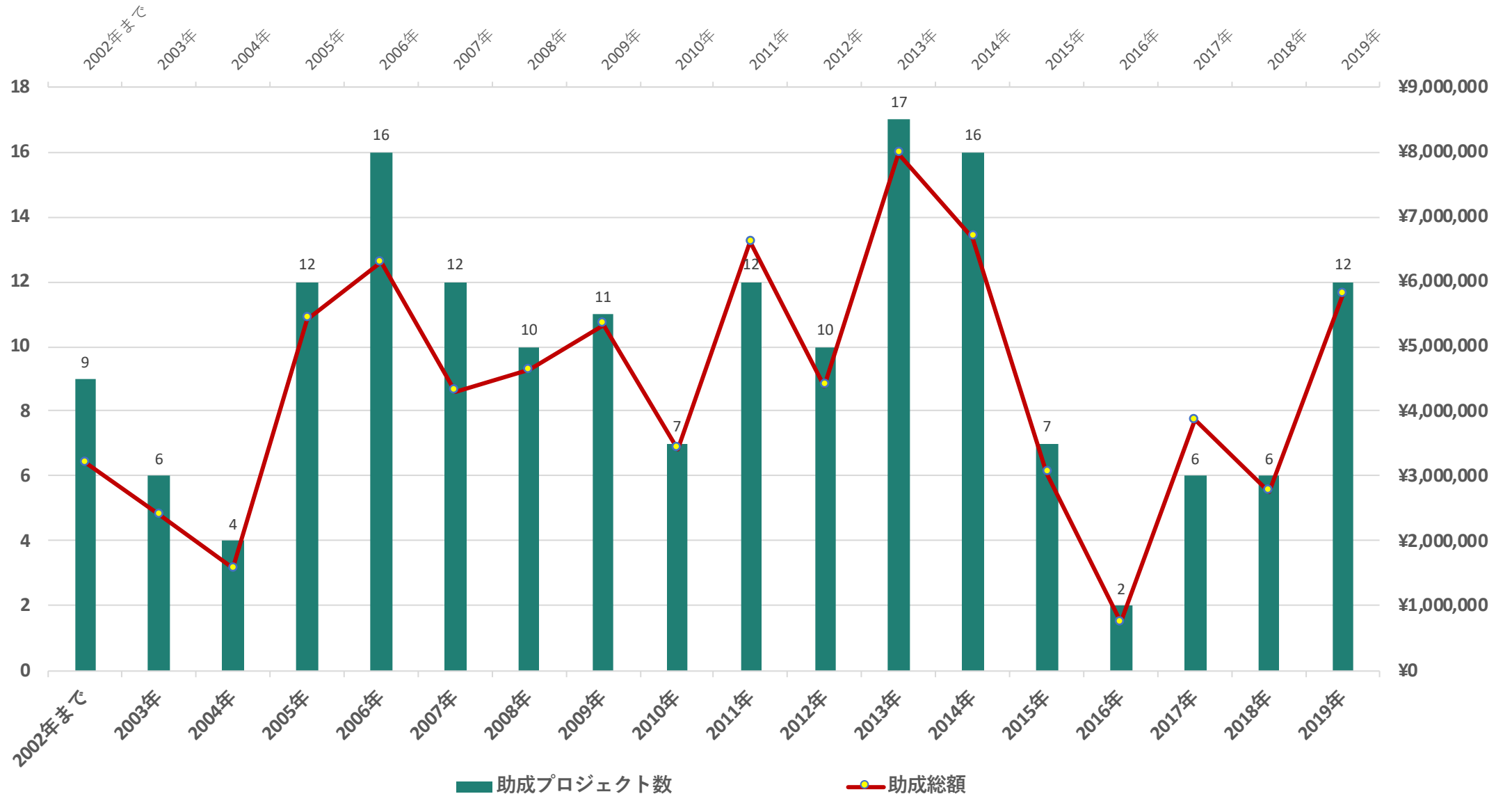
【檜枝岐村】～会津駒ヶ岳山頂湿原木道整備事業～

百名山である会津駒ヶ岳での木道整備やデッキ設置行い、登山者の安全確保や植生保護を目的とするプロジェクト。



2019年度助成総額 ￥5,794,000

Grant Achievements



Public Relations



CHUMS展示会



パーゴワークス TTE展示会

その他
池袋TOS展示会
Outdoorthings展示会
ギフトショー
MONTAGE展示会
インタースタイル
にて広報。



Ogawa Grand Lodge横浜店 プレオープン



MiiR
浅草アウトドア合同展示会

Public Relations



KEEN 展示会



ニューテックジャパンcaravel
銀座PULSTOKYO



Outdoor Innovation Summit2019にブースを出展。パネルボードを作成し活動を紹介。



Ogawa
池袋アウトドア合同展示会

Public Relations

助成先団体のホームページにてCAJロゴの掲載(一例)



Public Relations

メディアパートナー「フィールド・ライフ」での掲載

織研新聞記事3/24

READING+FIELD

FIELD 107 2016.04 2016.05

Conservation Alliance Japan

コンサベーション・アライアンスジャパンが、
新規メンバーを迎え、
一般社団法人としてバージョンアップ

ENVIRONMENTAL PARTNER

KEEN

patagonia

SPACEKEY

THE NORTH FACE

MEMBER

AIGLE

Columbia

HH

OUTDOOR

鎌倉通商

macpac

OUTDOOR

Pizza Hut

PICA

PRANA

* snow peak

THE PARK

WILD-1

カワレコ

カワレコ

MEDIA PARTNER

Akimama

フィールド
ライフ

自然保護の国際的な活動の発展に貢献したいという思いは、必ず実現していただける。そんなことを信じて、フィールド・コンサベーション・アライアンス・ジャパンの活動にぜひご参加ください。

<https://outdoorconservation.jp/>

アライアンスのアップデートは、自然保護の国際的な活動の発展に貢献したいという思いは、必ず実現していただける。そんなことを信じて、フィールド・コンサベーション・アライアンス・ジャパンの活動にぜひご参加ください。

「アライアンスのアップデートは、自然保護の国際的な活動の発展に貢献したいという思いは、必ず実現していただける。そんなことを信じて、フィールド・コンサベーション・アライアンス・ジャパンの活動にぜひご参加ください。」

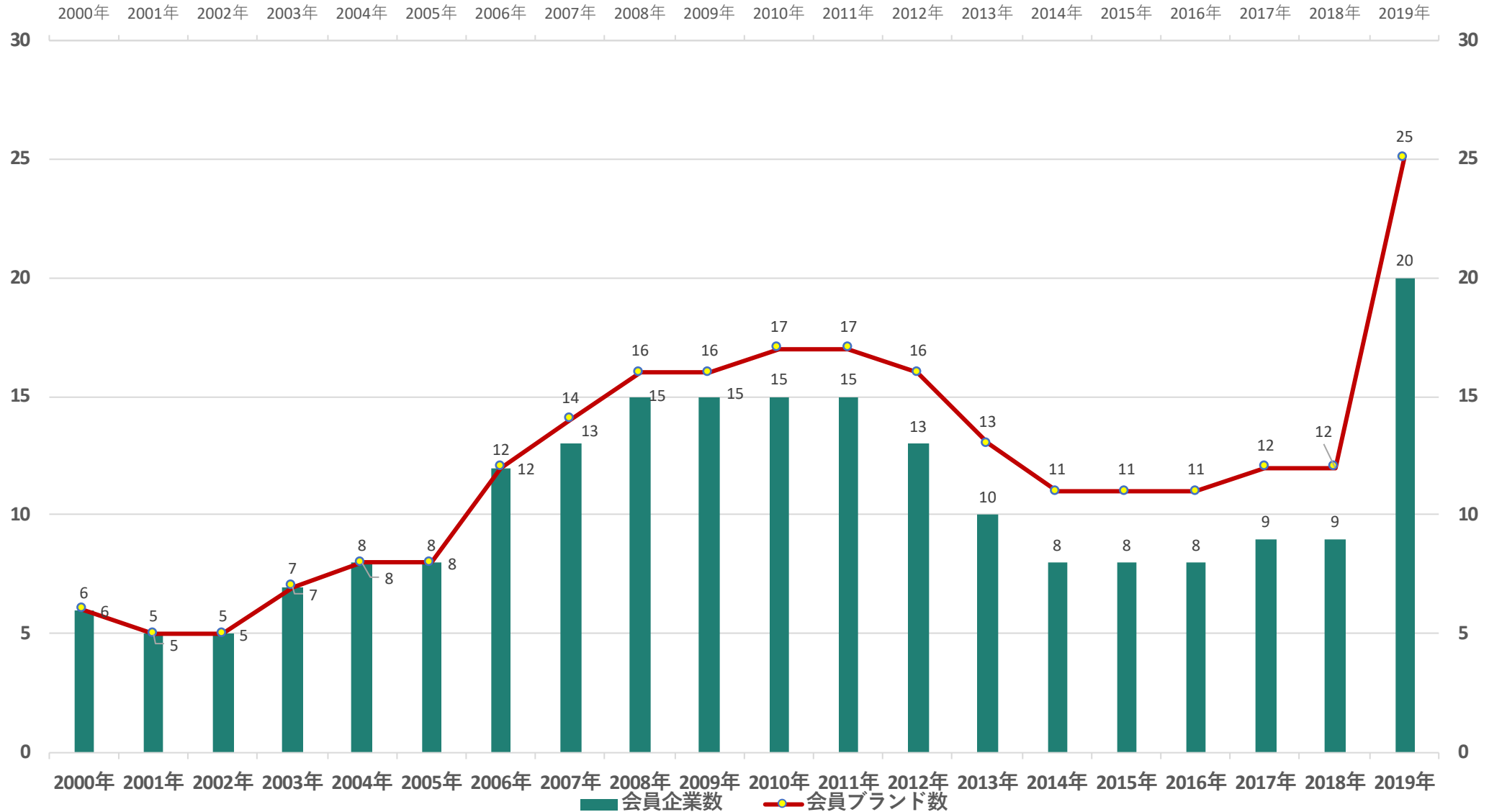
「アライアンスのアップデートは、自然保護の国際的な活動の発展に貢献したいという思いは、必ず実現していただける。そんなことを信じて、フィールド・コンサベーション・アライアンス・ジャパンの活動にぜひご参加ください。」

「アライアンスのアップデートは、自然保護の国際的な活動の発展に貢献したいという思いは、必ず実現していただける。そんなことを信じて、フィールド・コンサベーション・アライアンス・ジャパンの活動にぜひご参加ください。」

055 Field Life 2016.04

[illegible][illegible][illegible]

Number of Member



New Member

The logo for MiiR, featuring the brand name in a bold, black, sans-serif font with a registered trademark symbol.

有限会社サンウエスト
2019年10月入会



株式会社ネイチャーズウェイ
2020年01月入会



株式会社そとあそび
2020年01月入会



デッカーズジャパン合同会社
2020年01月入会

2019 Member



<メディア・パートナー>

A kimama
アウトドアカルチャーのニュースサイト

Field Life
フィールド
ライフ

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン
事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-2-13高橋ビル201
株式会社ヨンロクニ内

事務局長：滝沢守生

TEL:03-3797-0539 / FAX:03-6419-7015

E-mail:info@outdoorconservation.jp

<https://outdoorconservation.jp/>

Board Member

代表理事：三浦 務
専務理事：若菜 洋
理事：齋藤 栄樹
理事：竹田 尚志
理事：古幡 浩史
理事：山田 太郎
理事：与茂 雅之
監事：篠 健司



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン